

2013 年度翔友会総会

2014 年 3 月 9 日

次 第

司 会 瀬川 貴之

- 一. 黙祷
- 二. 会長挨拶 翔友会会長 大久保雅史
- 三. 航空部部長挨拶 (代理) 航空部副部長 瀬川 貴之
- 四. 議事 議事進行 事務局長 西山 靖郎
1. 本年度新入会員紹介 監 督 森川 泰
2. 航空部現況報告 ” ”
3. 2013 年度活動報告 主 将 嵯峨根育斗  
会計報告 会 計 藤井 瞳
4. 翔友会  
2013 年度活動報告 会 長 大久保雅史  
会計報告 会 計 瀬川 貴之  
2014 年度活動方針 (案) 会 長 大久保雅史  
予算 (案) ” ”
5. 各支部活動報告 各 支 部 長
6. 新学連、(社)東海・関西学生航空連盟 代 表 理 事 太田 泰史
7. OB 体験搭乗会の件 東海副支部長 水谷 修平
8. 海外滑翔計画(案) 宮原 幸春 、 中村 悟志
9. その他 (特別会員、80 周年事業、DC カード)
- 五. 懇親会

司 会 前田 賢一

- ★乾 杯
- ★会 食 OBスピーチ
- ★閉会の辞
- ★カレッジソング斉唱

以上

## 2013 年度翔友会会計報告

2013. 1. 1～2013. 12. 31

(単位：円)

収 入 の 部		支 出 の 部	
前期繰越	549,520	翔友発行費	441,000
会費・賛助金 (のべ84名分)	840,000	翔友発送費	26,286
総会会費 (24名)	240,000	総会費	291,321
寄付	13,000	学連カレンダー購入費 (2013年度版)	105,000
翔友会カードインセンティブ	23,130	全国大会援助金	300,000
利息	31	搭乗奨励金	46,000
65周年余剰金より借入	100,000	スポーツユニオン分担金	30,000
		スポーツユニオン震災義援寄付	20,000
		ファルケオーナー出資金	200,000
		通信費	76,660
		文具雑品印刷費	3,780
		慶弔費	14,746
		各種手数料	5,655
		AION (JA2096) 整備費援助	150,000
計	1,765,681	計	1,710,448
		次期繰越金	55,233

### 次期繰越金内訳

現金	6,022
普通預金	43,869
郵便振替	5,342

会 計 瀬 川 貴 之<sup>Ⓜ</sup>

## 翔友会財産目録

(単位：円)

現金	6,022 円	翔友会会計次期繰越金
普通預金（みずほ銀行出町支店）	43,869 円	〃
ゆうちょ銀行振替口座	5,342 円	〃
通常貯金（ゆうちょ銀行）	1,000,000 円	小野基金
	52,148 円	果実
普通預金（みずほ銀行出町支店）	1,274,761 円	60周年余剰金
合 計	2,382,142 円	

(2013年12月31日現在)

※60周年余剰金より翔友会会計借入100,000円あり

## 2014年度翔友会予算（案）

(単位：円)

収 入 の 部		支 出 の 部	
前期繰越	55,233	翔友発行費	200,000
会費・賛助金（のべ80名分）	800,000	翔友送費	30,000
総会会費（20名）	200,000	総会費	250,000
寄付	100,000	学連カレンダー購入費（2014年度版）	75,000
スポーツユニオン校友会チケット	20,000	借入金返済	100,000
翔友会カードインセンティブ	23,130	搭乗奨励金	200,000
利息	31	スポーツユニオン分担金	30,000
		スポーツユニオン震災義援寄付	20,000
		スポーツユニオン校友会チケット	50,000
		通信費	40,000
		文具雑品印刷費	5,000
		慶弔費	20,000
		各種手数料	5,000
		AION（JA2096）整備費援助	150,000
計	1,198,394	計	1,175,000
		次期繰越金	23,394

## 2014 年度翔友会活動方針（案）

翔友会 2014 年度活動方針は OBOG の親睦を深め現役と一体と成って航空部の発展に役立つ活動を行なってまいります。

翔友会と航空部の発展のため若い OBOG 方が賛同し協力頂けるよう各幹事が働きかけ同志社大学体育会航空部の発展に人、金、物の全面的な支援が行なえる様にサポーターズクラブを結成したいと考えます。又 2 年後の創部 80 周年の行事を実施するため準備を進めたいと考えております。

OBOG 体験搭乗会の継続実施をはじめ親睦行事を新たに企画実行したいと思ひます。皆様のご提案をよろしくお願ひいたします。

更に 2012 年度からのプロジェクト実現の為に翔友会幹部、幹事の活動を強化してまいりたいと考えます、何卒よろしくご協力をお願ひいたします。

1. 創部 80 周年を 2 年後にひかえ OBOG の親睦の原点である親睦行事のあり方を検討実施するために委員会を設置し企画していきたいと考えています、多数の方の参画を是非お願ひする次第です。
2. 2013 年度の全国大会出場は残念ながら実現できませんでしたが本年度以降に出場し全国制覇達成を目指す為の支援の基本は W28 の運用強化です。”搭乗奨励金の実施”によりライセンスの早期取得、単座機での錬度向上を目的に監督・コーチ教官が現役と強化育成計画を策定し競技会に勝てる航空部とする、強豪他校のベンチマークと交流は今後は積極に行い他校の合宿に参加し搭乗回数を増やす支援を強化したい。
3. 今後の資金力強化を実現する為に翔友会費とは別に現役サポーターズクラブ（仮称）を新設し現役に対する資金集め専用の会を造りたいと考えています。

OBOG の方で現役に直接寄付をしたいとお考えの方もいらっしゃるのでは金額、回数等は決まらずに OBOG 方の都合で現役を支援いただけるようにします。

現役時代の滞納金の回収は監督の範疇としました、個人、企業の寄付（大学宛→航空部）拡大を継続推進して参ります。

大学、スポーツ支援課（決算、活動、戦績報告）、スポーツユニオン、アトム（発信力強化）と関係強化も継続して行います。

4. 現役部員の搭乗不足を補うために OBOG が社会人クラブに入会し、OBOG の搭乗機会を増やし且つ現役の支援を行なうため福井グライダークラブに入会しました。大野グライダークラブにも同時入会と成りますので訓練に有効活用を図ります。
5. 東海・関西学連の自立化を安定的に継続するための協力を行ってゆき、学生の負担減の為コストダウンに OBOG がボランティア協力して行く事にも今後協力します。
6. 現役指導育成の支援として現役の幹部の業務内容の確認、明確化（文書化）、及び進捗管理と引継ぎ継承の実行を補佐する事を継続して行なう。
7. ”翔友”継続発行と電子化、ローコスト化を実行する為に学生の請負を含め進めて参ります、OB

ボックスにつきましては京田辺が最良か再検討中です、格納庫整理等は未実施の分は順次実行する。

8. 同志社専用滑空場構想は玉水橋上流の河川敷の代替地調査を継続して行う。
9. 新入生の増員策として学内高校生の早期訓練、勧誘の実現を 2014 年度に行います。

「年間行事予定」

1. 翔友会総会、幹事会・P J 会、合宿・競技会応援、オリエンテーション支援、体験搭乗会の支援、新勸コンパ、O B 体験搭乗会、O B O G 親睦会等、慶弔、その他行事会合。
2. ユニオン総会年 2 回、各幹事会、記念事業その他会合、ユニオン・校友会ゴルフ、ユニオン支部会議、慶弔及び会合。

## 2013 年度現役活動報告

実施合宿 12 合宿

2013年	5 月 24日 (金) ~	27日 (月)	同志社、福井	(木曽川滑空場)
	6 月 8日 (土) ~	9日 (日)	同志社、名城、三重	(大野滑空場)
	6 月 22日 (土) ~	23日 (日)	同志社、関大、福井	(木曽川滑空場)
	7 月 6日 (土) ~	7日 (日)	同志社	(大野滑空場)
	8 月 9日 (金) ~	12日 (月)	同志社、福井、名工	(福井空港)
	8 月 28日 (水) ~	9 月 1日 (日)	同志社、立命	(福井空港)
	9 月 7日 (土) ~	14日 (土)	同志社、関大、名城、愛学	(木曽川滑空場)
	10 月 26日 (土) ~	1 月 11日 (金)	関関同立戦	(木曽川滑空場)
	11 月 23日 (土) ~	12 月 2日 (月)	トレセン	(妻沼滑空場)
	12 月 14日 (土) ~	15日 (日)	同志社	(木曽川滑空場)
	1 月 18日 (土) ~	19日 (日)	同志社、福井、南山	(木曽川滑空場)
	2 月 15日 (土) ~	21日 (金)	同志社、龍谷、南山	(木曽川滑空場)

[部員数] 20 名 ( 4 回 : 2 名 3 回 : 4 名 2 回 : 7 名 1 回 : 7 名 )

[技能証明取得者] 窪田 倫子 ( 4 回 )

## 競技パイロット育成指針

### ● 1年生

#### ○飛行経験

- ・ 目標総発航回数： 80 発(最低 60 発)
- ・ 目標総飛行時間： 13 時間
- ・ 資格、経験： 無線従事者資格取得  
単独飛行前に必要な経験

#### ○必要知識

- ・ 基本的な操縦技術に関する知識
- ・ 工学、気象等自家用学科レベルの知識

#### ○競技へ向けて

- ・ 全ての部員が、この時点では将来の選手候補であることを自覚
- ・ 競技のルールや特性、必要とされることの理解
- ・ 各種大会にクルーとして参加し、大会の流れを理解

### ● 2年生

#### ○飛行経験

- ・ 目標総発航回数： 160 発（最低 120 発）
- ・ 目標総飛行時間： 25 時間
- ・ 資格、経験： 複座機による単独飛行 10 回  
単座機による単独飛行 5 回  
自家用操縦士学科試験合格  
関関同立戦への出場

#### ○必要知識

- ・ ソアリングに関する基本知識
- ・ 自家用操縦士実地試験相当の知識

#### ○競技へ向けて

- ・ 全国新人グライダー競技会での個人、団体優勝を目標  
(出場時までに総発数 90 発、単独飛行 5 回以上)
- 4 月以降は新人戦課目にある課目を全員が練習
- 8 月以降は選手候補を絞り、新人戦を想定した重点練習
- 関関同立戦に選手として参加して、周回速度競技の経験

## ● 3年生

### ○飛行経験

- ・目標総発航回数：260発（最低180発）
- ・目標総飛行時間：45時間
- ・資格・経験：自家用操縦士の取得  
ASW28の5時間以上の飛行  
その他大会必要経歴

### ○必要知識

- ・周回速度競技に関する詳細な知識
- ・ソアリングの気象に関する知識

### ○競技へ向けて

- ・3年生夏までに自家用操縦士を取得
- ・関関同立戦（2回目）出場個人、団体優勝を目標
- ・東海関西学生グライダー競技会に出場し、個人入賞・団体で  
全日本学生グライダー競技選手権の出場権獲得
- ・全日本学生グライダー競技選手権（1回目）出場、団体入賞を目指す
- ・北海道またはオーストラリア遠征などを行い、ソアリング経験蓄積
- ・福井空港でのモーターグライダーを利用した距離感の習得やリフト探索能力の向上

## ● 4年生

### ○飛行経験

- ・目標総発航回数：400発（最低240発）
- ・目標総飛行時間：75時間
- ・資格・経験：木曾川12kmタスク15回以上  
妻沼24kmタスク10回以上

### ○必要知識

- ・妻沼滑空場に特化したソアリング環境に関する知識

### ○競技へ向けて

- ・北海道またはオーストラリア遠征などを行い、ソアリング経験を蓄積
- ・福井空港でのモーターグライダーを利用したリフト探索能力の向上
- ・関関同立戦（3回目）出場、個人・団体優勝を目標
- ・東海関西学生グライダー競技会（2回目）出場、個人、団体優勝を目標
- ・全日本学生グライダー競技選手権（2回目）出場、個人、団体優勝を目標

## ●グループ分け

部員の進度に応じた学科をする為に、適宜下記のグループ分けで行う。

- A グループ自家用操縦士
- B グループ初ソロ以降から、自家用受験前まで
- C グループ2年生以上で、初ソロ前まで
- D グループ1年生

## ●全般

### ○フライト

- ・選手教育プログラムに準拠した学生個人の目標を明確化
- ・合宿ごとの部全体や個人の目標を具体的に設定し、効率化
- ・学生の発数、技量の状態などを、指導陣、学生で情報共有した上で、学生各人に適切なアドバイスを実施
- ・普段の合宿から競技会を意識した練習内容

### ○学科

- ・指定した学科テキストに従い、必要知識をくまなく学習
- ・教官による定期的な学科により、正しい知識の取得と向上
- ・自家用操縦士実地試験前に、同志社の教官による知識及び技量確認の場を設け、適切な指導及び助言

### ○部活動全般

- ・意欲のある新人を獲得し、部員数を確保
- ・合宿運営、機材維持に必要な知識・経験を計画的に継承、維持し、同志社独自の合宿運営能力
- ・グライダーの扱い方や修理の仕方など、グライダーマンとしてのベースとなる知識、経験を得る機会を設定



## 2013 年度航空部会計報告

2013. 1. 1～2013. 12. 31

(単位：円)

収 入		支 出	
前期繰越金	113,841	試合費	160,000
大学補助金	380,000	交通費	168,938
個人負担金	194,000	保険料	424,440
部費	586,000	維持費	549,317
寄付金	805,872	行事費	1,468
体育会費	54,000	渉外費	1,837
キャンプ代	66,000	消耗品費	28,656
特別収入	479,263	通信費	23,066
		手数料	5,565
		連盟費	420,000
		備品費	28,347
		コーチ謝礼金	131,000
		体育会費	54,000
		キャンプ代	81,000
		特別支出	7,000
		次期繰越金	594,342
合 計	2,678,976	合 計	2,678,976

## 2013 年度戦績

### ■第16回全日本学生ライダー新人競技会（10月10日～15日 木曾川）

#### 【個人】

優勝	井上 翔太（同志社）	241.9 点
2 位	（慶應義塾大学）	234.5 点
3 位	（慶應義塾大学）	233.3 点
17 位	川上 樹（同志社）	214.3 点

#### 【団体】

優勝	慶應義塾大学	467.8 点
2 位	同志社大学	456.2 点
3 位	法政大学	454.1 点

### ■第10回関関同立対抗ライダー競技会（10月26日～11月1日 木曾川）

#### 【個人】

優勝	（関西大学）	40 点
2 位	（立命館大学）	36 点
3 位	中谷 パウル 玲雄	34 点
5 位	井上 慧	5 点

#### 【団体】

1 位	関西大学	40 点
2 位	同志社大学	39 点
3 位	立命館大学	38 点

### ■第33回東海・関西学生ライダー競技会（11月2日～10日 木曾川）

#### 【個人】

優勝	（立命館大学）	1064 点
2 位	（京都大学）	950 点
3 位	（名古屋工業大学）	941 点
9 位	窪田 倫子	792 点

#### 【団体】

優勝	（立命館大学）	1904 点
2 位	（京都大学）	1833 点
3 位	（名古屋大学）	1790 点